

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー：着ている服の色動向

C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

注意：気温変化により、コートの数値に差が出る関係で、他アイテムとの比較に影響がでます。
以下のデータはコート抜きで作成しています。
10月下旬撮影ですが、11月編としています。

A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー **1色** を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

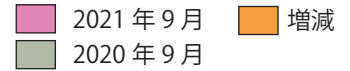
概要

日時 2021年10月22日20度
2020年10月25日20度

場所 神戸元町(神戸大丸近く)

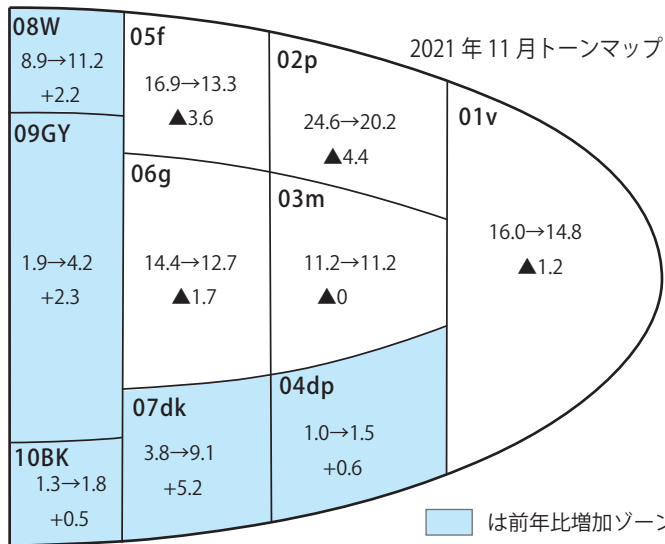
対象 20-50代女性

棒グラフ対応カラー



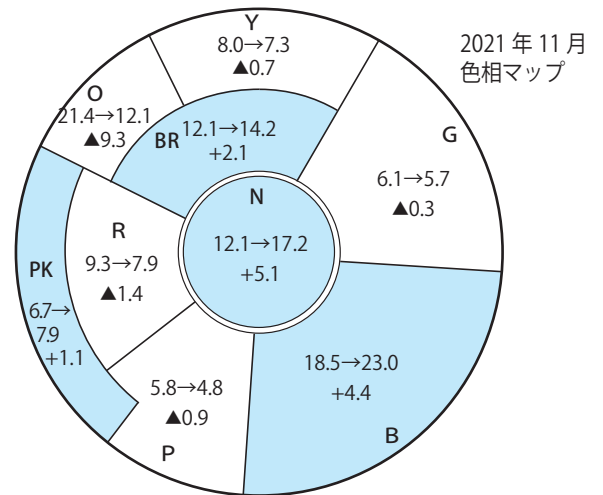
トーンの特徴

ニュートラル、暗い方向がリード
dk ダーク、GY グレイ、W 白の増加による
前年度の明るく薄く、グレイッシュ方向から大きく変わる

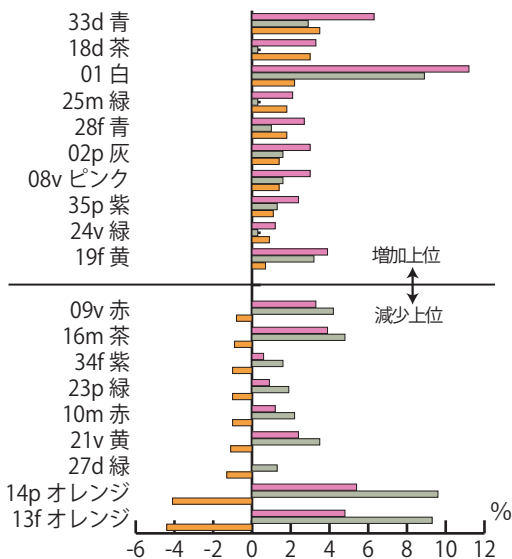


色相の特徴

ニュートラル中心に、ブルー、ブラウンがリード
ピンクが続く グリーン、イエローは減少は少ない
オレンジ系の減少が目立ち、レッドが続く

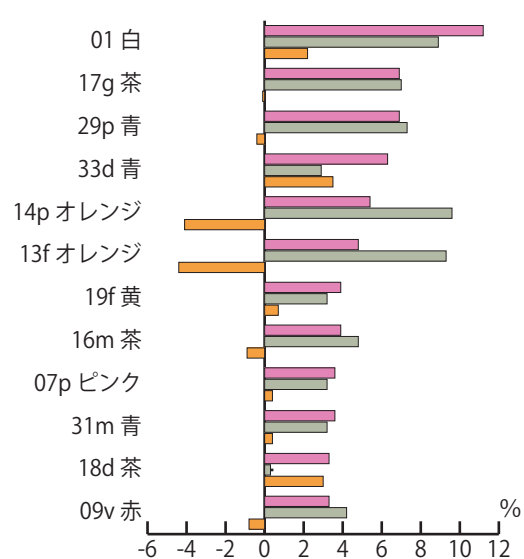


詳細な目立つカラー増減順位 (上位)



ニュートラル系では、白、明るいp灰が増加
ブルー系では、d ダーク、f かすかなが増加
ブラウン系では、d ダークが増加
緑系では、m、vが増加、d、pが減少と、分かれる

詳細な目立つカラー量順位 (上位)

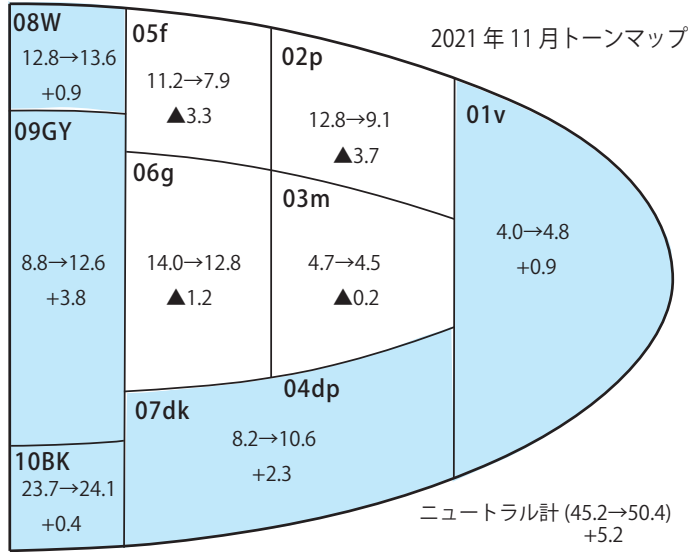


量的には、白が1位
青系と茶系は3色あり、使いやすいカラーと言える
急減のオレンジも、量的には5、6位と残っている

B: 着色彩ラー (服のみ) 街頭で見た印象に近い着色彩ラー

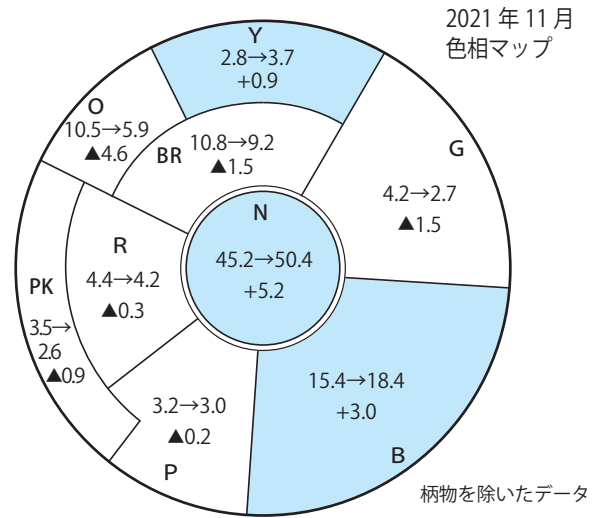
トーンの特徴

目立つカラーと似た傾向だが、v 鮮やかなが増加に変わる
 ニュートラルとダークがリード、v 鮮やかなが続く
 ニュートラルでは、灰色がリード、量的には黒が安定している
 減少は、中、低彩度の明るい方向が目立ち、中明度方向が減少で続く

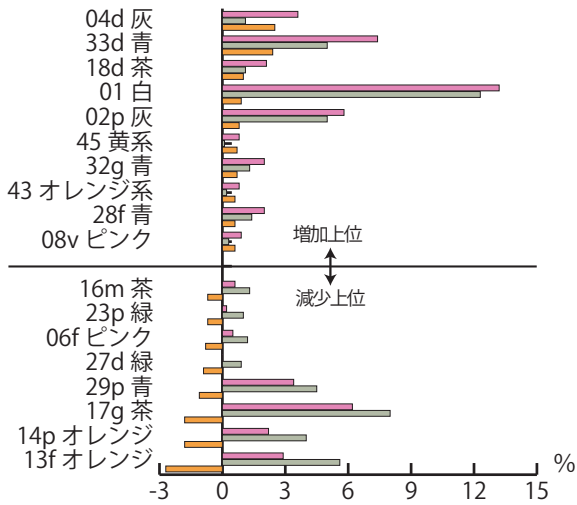


色相の特徴

目立つカラーと比べ、増加の大きいニュートラルとブルーは変わらないものの、ブラウンが減少、イエローが増加となっている
 減少はオレンジが目立つも、ブラウン、グリーン、ピンクも続く
 レッド、パープルは減少が少ない

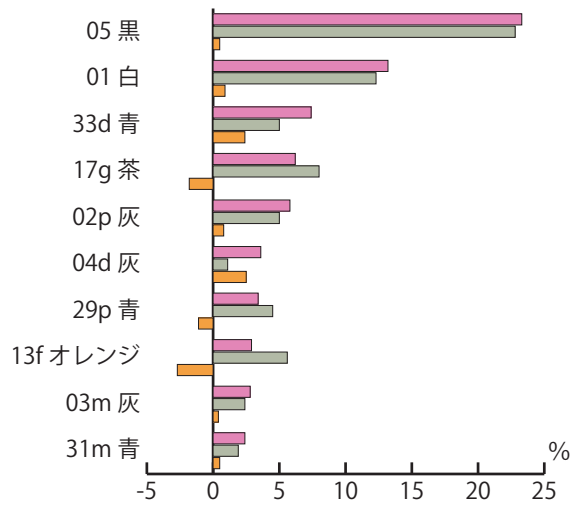


詳細な着色彩ラー増減順位 (上位)



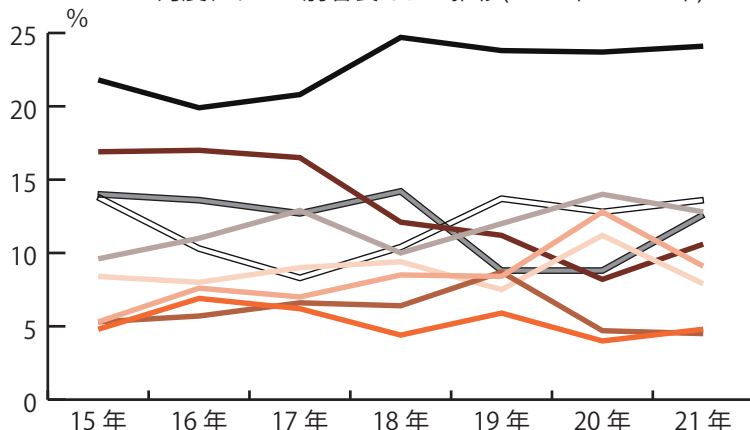
ニュートラル系では、d、p 灰、白がリード
 青系では、d、g、f 青と3色も登場
 反対に、減少はオレンジ系、g 茶、p 青が続く

詳細な着色彩ラー量順位 (上位)



量的に多く使いやすい上位3色、定番カラーが更に増加して安定
 ニュートラル系5色すべて登場

11月度、9トーン別着色彩ラー推移(2015年~2021年)



量的に多い黒は18年より、白は19年より安定
 増加傾向のトーンは
 ・GY 灰
 ・dk 暗い
 がリード
 減少傾向は
 ・dk 暗いが17年より、GYが18年より続いてきたが反転して増加になる
 ・p、f、gは20年より減少

ジャケット 色では、黄系、ニュートラル系、緑系がリード、オレンジ系、柄物が減少
 詳細では、f黄、g青、黒がリード、g緑、g茶が続く オレンジ系、青系が減少

ブルゾン



レザー、デニム



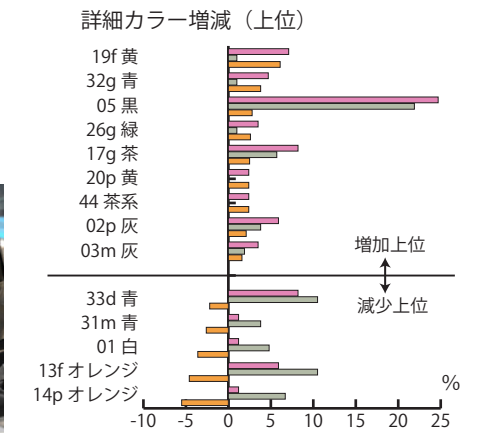
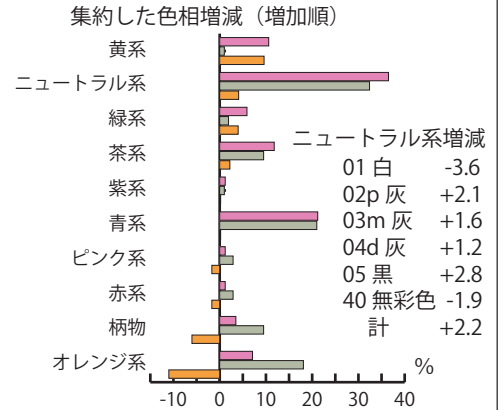
パーカ



ブレザー



中綿

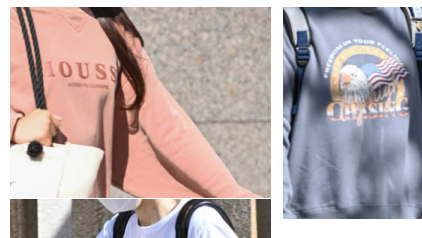


カットソー 色では、ニュートラル系がリード、青系、ピンク系が続く
 詳細では、白、p灰、m灰の明るいニュートラルがリード
 黒、g茶、オレンジ系が減少

張り感、ボリューム



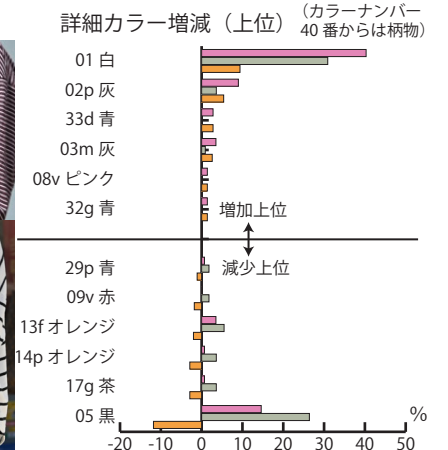
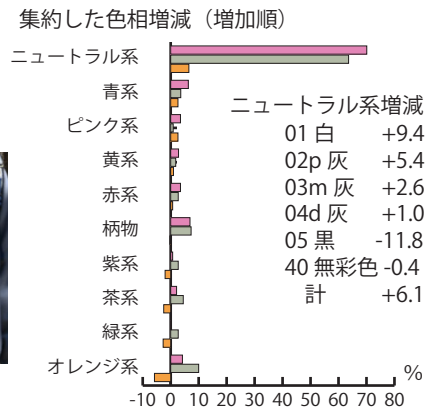
柄はほとんど文字他、ボーダー



ラッフル、スクエア

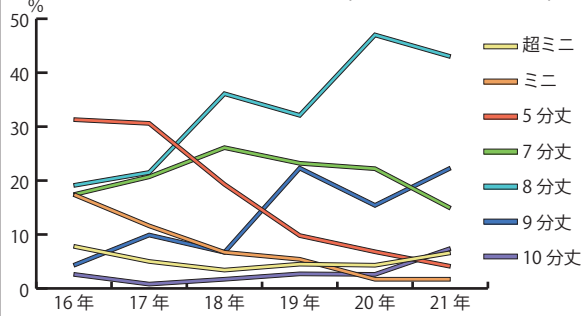


ふくれ

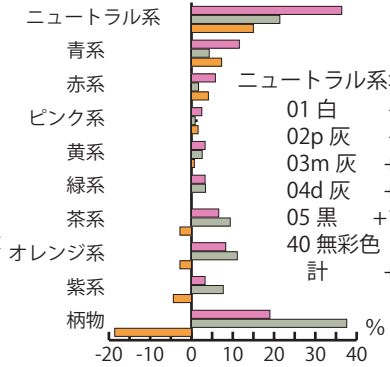


スカート 色では、柄物が急減、ニュートラル系が急増、青系、赤系が増加
 詳細では、黒、d 灰が増加、d 青、g 赤が続く
 スカート丈は更に長くなる傾向 ひざ丈は減少が続く

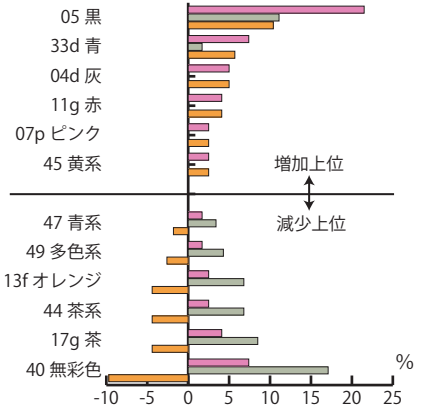
11月度 スカート丈推移 (2016年~2021年)



集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



光沢、レザータイプ



ビッグフレアー



柄減少 色、素材ミックス使い



タイト スリット使い



ハイウエスト



ティアード、裾ポイント



レース、毛羽、ニット



パンツ 色では、青系がリード、ニュートラル系、紫系が続く
 増加上位の詳細では、f、m、d 青とd、m 灰、白で、青系、ニュートラル系が占めている
 パンツ巾はスリム方向にシフトしている

スリム、フィット、テーパード スエットパンツ ジーンズ



別珍、コーデュロイ、ドレープ



超ミニ



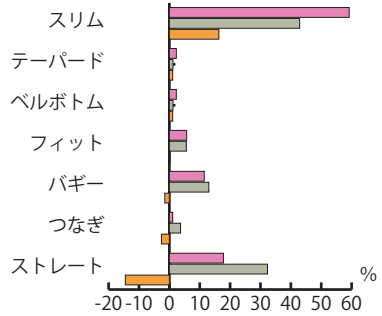
つなぎ



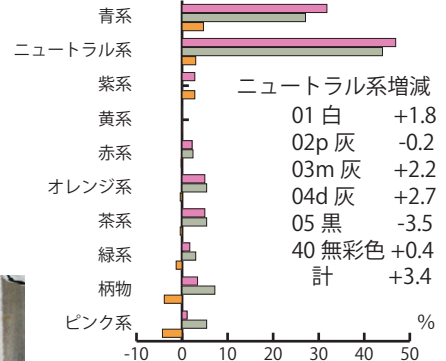
柄 チェック、抽象



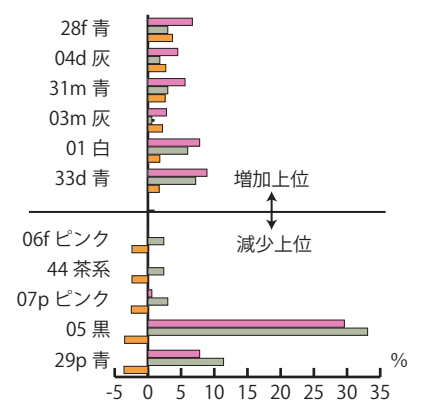
パンツ巾増減



集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



セーター、カーディガン

色では、茶系、柄物がリード、ピンク系、ニュートラル系が続く
 詳細では、p、d 灰、d 茶、青が増加、量的に多い白、f オレンジが減少

無地柄、立体感、ローゲージと多彩



ラフな着こなし ほつれ



ショート丈



毛羽



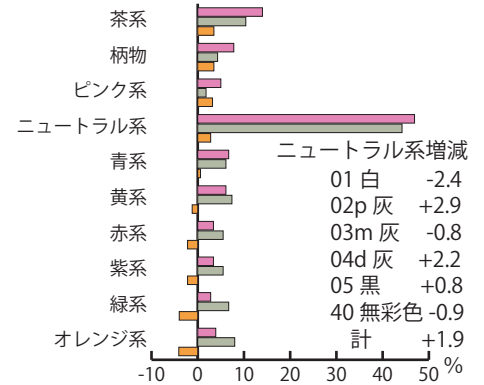
組み合わせ、肩ポイント



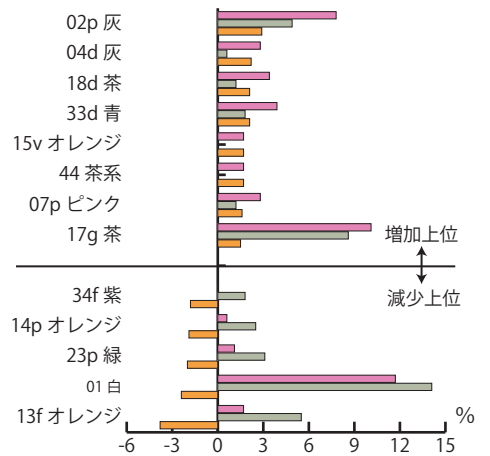
柄が急増 ボーダー、幾何構成など



集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



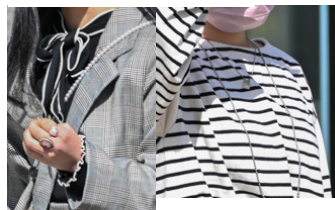
ブラウス

色では、ニュートラル系が大きく伸びる 柄物が減少
 詳細では、白、黒中心にリード

大衿



ライン縁取り、ボーダー



フリル、レース



ボリューム袖



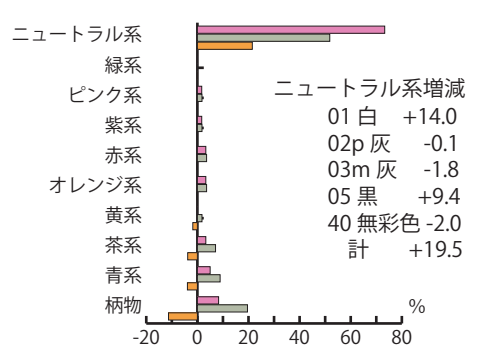
ロング丈



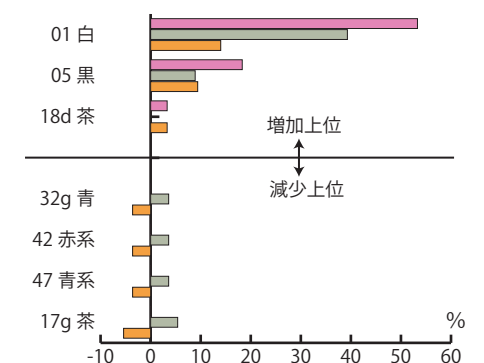
ドレープ



集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



ドレス

色では、柄物、青系がリード 茶系、オレンジ系が減少
 詳しくは、d 青、柄無彩色、柄青系、黒が増加、減少は白、f オレンジ
 ドレス丈は、ロング中心に長くなる傾向が続く

ロングが多い



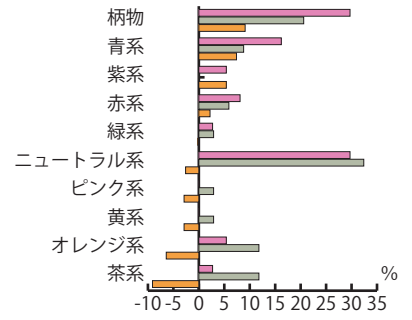
ミニ丈



ニュートラル系増減

01 白	-6.1
02p 灰	-0.2
03m 灰	-3.2
04d 灰	+2.7
05 黒	+4.2
40 無彩色	+5.4
計	+2.8

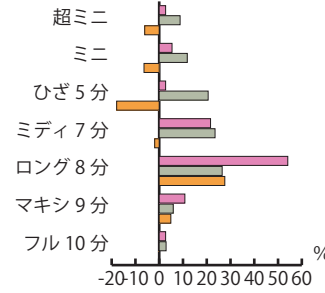
集約した色相増減 (増加順)



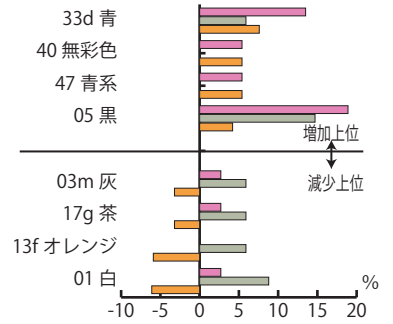
柄 小柄が多い



ドレス丈



詳細カラー増減 (上位)

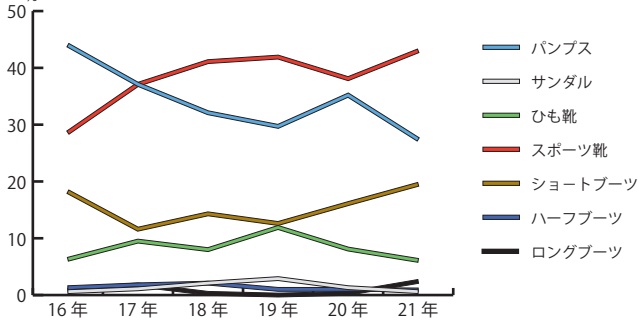


靴

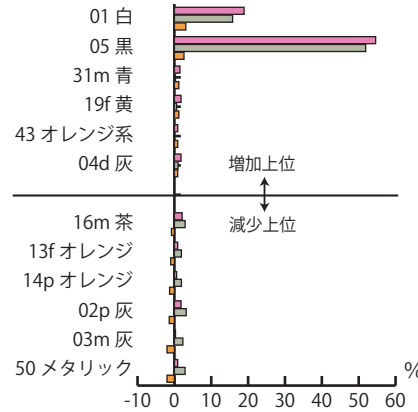
靴タイプでは、スポーツ靴、ショートブーツが伸びる
 色では、白、黒、m 青が増加、メタリック、灰が減少

スポーツ靴、ショートブーツ
 中心にボア飾りまで

11 月度 靴タイプ推移 (2016 年～ 2021 年)



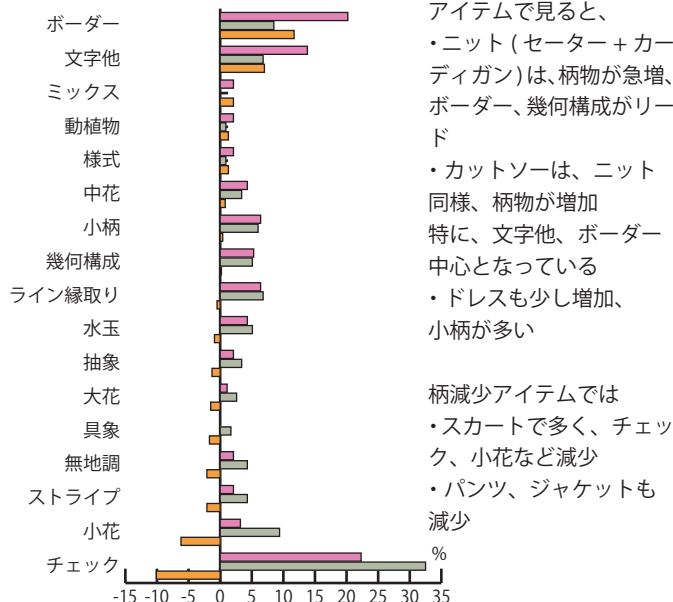
靴カラー増減 (上位)



柄

ボーダー、文字他が大きくリード 反対に、チェック、小花が大きく減少
 量的には、ボーダー、チェックが多い

アイテム別 柄タイプ増減 (0.8 ~ -0.8は省略)



アイテムで見ると、
 ・ニット (セーター+カーディガン) は、柄物が急増、ボーダー、幾何構成がリード
 ・カットソーは、ニット同様、柄物が増加特に、文字他、ボーダー中心となっている
 ・ドレスも少し増加、小柄が多い
 柄減少アイテムでは
 ・スカートで多く、チェック、小花など減少
 ・パンツ、ジャケットも減少

	ニット	カットソー	ドレス	ブラウス	ジャケット	パンツ	スカート	計
ボーダー	4.7	5.5		1.1				11.7
文字他		7.0						7.0
ミックス							2.1	2.1
動植物		1.1	1.1			-0.9		1.3
様式	1.1		1.1	-0.9				1.3
中花				1.1				0.8
小柄			3.4	-1.7		-0.9		0.4
幾何構成	2.3	-1.7	1.1		-1.7			0.2
ライン縁取り				2.1	-1.7	-1.7		-0.5
水玉				-1.7				-0.9
抽象	1.1				-1.7		-0.9	-1.3
大花			-0.9					-1.5
具象		-0.9			-0.9			-1.7
無地調		-0.9						-2.1
ストライプ					1.1		-2.6	-2.1
小花			-1.7	-1.5			-3.0	-6.2
チェック	1.3			-1.5	-1.3	-3.6	-5.6	-10.1
計	13.6	10.4	4.9	-3.7	-6.2	-6.6	-10.8	